

〔第21回〕

NCGG-RI 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

脂質代謝異常の口腔疾患への影響と 臨床応用の可能性

口腔疾患研究部 口腔感染制御研究室

四釜 洋介 室長

2017年7月11日(火) 16時00分～

第1研究棟2階大会議室

近年、歯周病をはじめとする歯科領域疾患が全身に及ぼす影響や、全身疾患が歯科領域疾患に与える影響に関する研究が盛んに行われている。その中でも糖・脂質代謝異常が病態形成において重要な役割がある糖尿病は、歯周病や、ドライマウス（口腔乾燥症）を主症状とする自己免疫であるシェーグレン症候群の病態形成に関与する事が、主に疫学研究により明らかになっている。これら疾患の関連性の分子メカニズムを解明すべく、糖・脂質代謝異常疾患患者の血中で上昇する飽和脂肪酸に着目し、この飽和脂肪酸が歯周病やシェーグレン症候群の病態増悪に関与する可能性を報告してきた。歯周病やドライマウスは、QOLの低下および誤嚥性肺炎の引き金となり、急速な高齢化社会が進行している日本において、これら疾患の予防法および治療法の確立は重要な医療課題の一つであると考えられている。今回は、前半でこれまで行って来た研究の背景および研究成果を、後半では現在計画している研究内容について発表させていただこうと考えている。

座長：徳永 暁憲